

関東甲信越支部長活動報告

2011年6月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

UIA大会開催まで2ヶ月余りとなりました。参加登録が思うように進んでいません。皆様の積極的な参加をお願いいたします。なお、登録者1名につき2名まで、同伴者として安価で登録が可能です。コングレスキットはもらえませんが式典、基調講演など、ほとんどのプログラムへの参加が可能です。ご家族や事務所のスタッフの参加もご検討下さい。UIA東京大会と時を同じくしてJIA本部臨時総会が開催されます。議題は定款改定案の決議です。昨年度理事会からの継続審議として今年度に持ち越された新定款案ですが、6月理事会は集中審議のため、一泊して2日間の審議をしました。その結果、細かい文言まで理事の意見を出し合って決めてきました。7月、8月には支部毎に会員集会を開催し、新定款改定案を元に会員の皆様から意見集約をすることになります。関東甲信越支部では4月に一度会員集会を開催し意見を頂きましたが、7月22日に再度開催いたします。9月25日(日)は午前JIA本部理事会、午後臨時総会となります。定款改定に必要な議決数は**全会員の2/3以上の賛成票**です。皆様、臨時総会へのご出席、または議案への委任状を必ずご提出頂きますようお願い申し上げます。

支部長活動報告

- 1日 リトアニア建築家10名を赤堀国際委員長、国広ジョージ氏と共に案内する。ミニバスをチャーターし、UR東雲地区の集合住宅並びに木材会館を回る。東雲、新木場共に震災時の傷跡が建物周囲に残っており、興味深く見ていた。夕刻、丸の内行幸通り地下ギャラリーで開催された330 Days Before UIA-Tokyo、East East III展のオープニングセレモニーに参加。その後、リトアニア大使館で夜半まで続くレセプションパーティに参加する。その後、麻布の店に場所を移し、East East III展にパネル参加した全国支部から集まったU-40の面々と未明まで語り合う。
- 2日 本日のリトアニア建築家おもてなしツアーは午前中上野を案内し、午後は千代田地域会会員によるお茶の水界限町歩きが行われた。私は夕方から芦原事務所で、リトアニア建築家、リトアニア学生を迎えて開催されたおもてなしパーティーに参加する。手作りのパーティーに皆感激した様子。
- 3日 JIA-JOB運営部会との調整会が行われる。3.11以降停止していた「2050年の建築家シンポジウム」実行委員会が開催される。UIA東京大会では「UIA東

- 京宣言」、「5会による建築宣言」が発信される予定だが、「2050年の建築家」シンポジウムでは「JIA 建築家宣言」を発信する予定。連続シンポジウム第5回までは関東甲信越支部で主催したが、第6回以降は本部主催となる。7月30日(土)に第6回、第7回がUIA 東京大会で9月27日に開催される。
- 4日 午後、EAST EAST IIIシンポジウムがJIA 大ホールで開催される。夕刻より建築学会で「文化財ドクター派遣事業」に関する報告会が開催され挨拶をする。JIA が学会と共に組織的に調査するのは歴史的なことだ。阪神大震災の時は文化庁もきちんとした形での調査ができなかった。支部保存問題委員会、支部再生部会の活動実績を役立てる大いに役立てる機会となる。夜半よりJIA 近くの居酒屋でリトアニア建築家、学生を囲み、60名で打ち上げをする。
- 6日 建築相談委員会セミナーが開催された。建築基準法運用緩和について建築家倶楽部を会場として、東京都から説明に来られた。本部、支部共に受け皿が無く、建築相談委員会が主催となった。資格制度委員会が開催された。過去の理事会で報告されたが未承認の運用マニュアルについて今一度議論する必要がある。他国と相互認証になった時、日本人建築家の不利益にならない制度を念頭に置くべきで、能力、倫理観は認定時に審査し、更新時には知識のチェックが対象となる。(=CPD 単位が審査対象となる。)
- 9日 JOB 部会長会議に出席する。登録推進に汗を流しているJIAにとって同伴者の扱いなど不明快点が多く、途中で変わって足元がぐらつくとやっつけられない。同伴者についてUIA 委員会など専門的な会議以外は参加可能にすることをその場で決めてもらい、広報することを確約してもらう。これにより正式登録者1名につき2名まで登録可能な同伴者については、コングレスキットはもらえないが、ウェルカムネットミーティング、開会式、基調講演、テーマセッション、特別講演など主立ったプログラムは全て参加可能となる。夕刻前橋市で群馬地域会主催の災害シンポジウムに出席する。行政からの依頼は対組織で来ているのに、本部委員会からの要請は個人会員一本釣りで、地域会のネットワークを活用する事を考えて欲しいという要望が多く出た。
- 10日 UIA 大会支部推進委員会が開催される。UIA 大会登録推進のため地域会毎の目標数を割り当てた。7月22日開催予定の地域サミットで成果を持ち寄ることにする。JIA-JOB 運営部会調整 MTG を行う。JOB 運営部会とJIA(関東甲信越支部)との間で主要なプログラム当日運営について話し合う。
- 16日 UIA 大会職能シンポジウム実行委員会が開かれる。7月30日開催の第6回はパネリストとして宮城県名取市長の佐々木氏、建築家の長島氏、針生氏にお願いし、芦原会長がコーディネーターを務めることを決める。夕刻JOB 古谷部会長とUIA 大会テーマセッションについて意見交換する。UIA 推進委員会コア会議が開かれる。JOB が国内1,000名、JIA が国内2,000名、国外1,000名の大会参加登録集め、大会初日式典入場の管理等を話し合う。

- 17日 新旧合同常任幹事会並びに交流委員会合同会議を蓼科で開催する。交流委員会の名前は今まで通りとして欲しいという意見が出され、支部委員会規程に交流委員会について除外規定を設けることを検討する。賛助会員にとってのUIA大会の意義について等、賛助会員から多くの意見が出された。
- 21日 JASCA 総会懇親会に来賓として参加する。金箱氏が新会長として次世代に繋げ構造設計者が元気になる会にしたいと抱負を述べられた。
- 22日 JOB 部会長会議に参加する。大会実施本部を設置し、JIA と JOB が協力して大会準備することが確認された。支部マザー委員会会議が開催される。実行委員会毎に予定しているイベントの確認を行う。アーキテクト・ガーデンを来年6月に開催することが提案された。学生卒業設計コンクールも目玉イベントにする予定。
- 27、28日 岩本組川奈研修寮に一泊して本部理事会を開催し、新定款について集中討議を行った。ほぼ全理事の合意が取れたと思う。
- 30日 UIA 大会初日 MTG が開かれる。初日の式典入場は金属探知器によるチェックなど、警備が非常に厳しい。10時開会の式典は9時半頃までの入場となる予定で、それ以降は式典終了まで入場が許可されない。夕刻、東京事務所協会建築賞表彰式、総会懇親会に来賓として出席し、挨拶する。



支部長活動報告 2011年6月

2011年7月作成 上浪 寛

UIA
2011
TOKYO

DESIGN
2050

第24回 世界建築会議
2011年9月25日(日) - 10月1日(土)

10,000
WORLD
ARCHITECTS
EXHIBITION

一万人の世界建築家展

「UIA 東京大会」

<http://www.uia2011tokyo.com/ja/>

「一万人の建築家展」

<http://www.10000architects.com/>